

「在宅介護のための手立てを知ろう」 ～作業療法士からみた認知症の人と家族への視点～

医療、特にリハビリテーション職種の作業療法士はどのような仕事をしているのか、今回は、認知症の人の在宅介護において、本人と家族介護者の生活に役立つ術を作業療法という見方でお話ししていただきます。

◆講師：竹原 敦 先生

講師プロフィール：作業療法士、東京都作業療法士会 認知症の人と家族の生活支援委員会委員長、湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法専攻 准教授。総合病院、老健、大学勤務を経て現職。作業療法の理論、高齢者及び認知症の作業療法をテーマに活動している。特に認知症の人と家族が、作業療法によって穏やかな生活を送ることが出来るモデルの構築を検討している。

著書：「高齢期領域の作業療法」中央法規出版（共著）「認知症の作業療法」医歯薬出版（共著）「認知症を持つ人への作業療法アプローチ」メジカルビュー社（共著）「人間作業モデル」協同医書出版（共訳）



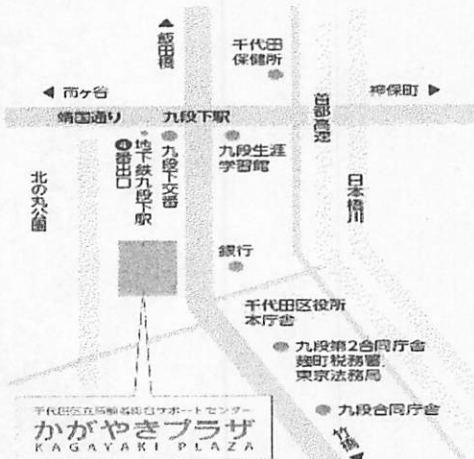
◇ 日時： 3月17日（土）13：30～15：30 （13時開場）

◇ 会場： 千代田区高齢者総合サポートセンター かがやきプラザ

ひだまりホール （〒102-0074 千代田区九段南1-6-10）

◇ 受講料： 無料

◇ 定員： 120名（申込不要 先着順）



《公共交通機関》

- 東京メトロ東西線・半蔵門線「九段下」下車 徒歩5分
- 都営新宿線 「九段下」下車 徒歩5分

問い合わせ先：東京都支部事務所

TEL/FAX 03-5367-8853

事務所開所日：火・金（10：00～15：00）

主催：公益社団法人 認知症の人と家族の会 東京都支部

後援：千代田区

助成：公益財団法人 損保ジャパン日本興和福祉財団